

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市がんばる地域応援補助事業審査会		
開催日時	令和4(2022)年12月20日(火) 午前9時30分から午前11時50分まで		
開催場所	みよし市役所 3階 研修室1～		
出席者	<p>委員 加藤 武志(会長・中京大学現代社会学部講師 まち楽房有限会社) 遠山 涼子(ボランティアネイバーズ) 松波 廣昭(区長会代表) 坊農 由有子(ボランティア連絡協議会会長) 清水 創一(政策推進部長) 岡田 高行(市民協働部長)</p> <p>事務局 山田市民協働部次長兼協働推進課長、瀧元協働推進課副主幹、農崎協働推進課主事、鈴木協働推進課主事(計10名)</p> <p>傍聴者 1名</p>		
次回開催予定日	—		
問合せ先	協働推進課 担当者名 農崎 電話 0561-32-8025 ファクシミリ 0561-76-5702 メール kyodo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	—
審議経過	<内容> 1 あいさつ 2 委嘱状の交付 3 団体プレゼンテーション 4 審査 5 事業採択について		

<p>会議録 開会</p>	<p>山田課長</p>	<p>皆様おはようございます。 本日は、お忙しい中、お集まりいただき、大変ありがとうございます。 ます。</p> <p>定刻となりましたので、只今より「令和4年度みよし市がんばる地域応援補助事業審査会」を始めます。 最初に礼の交換を行います。 皆様、ご起立をお願いいたします。 一同礼。 ご着席ください。</p> <p>本日の会議につきましては、「みよし市がんばる地域応援補助事業審査会運営要綱」に基づき開催させていただきます。 また、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」の第6条に基づきまして、プレゼンテーションを公開とし、協議・採択の部分に関しては非公開としておりますので、予めご了承をお願いいたします。</p> <p>本日の傍聴人は1人となります。</p> <p>初めに、加藤会長より、一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>あいさつ</p>	<p>加藤会長</p>	<p>今日は5団体でお昼前ぐらひまでかかるということで、発表が5分、質疑応答が7分であり、その間に少しでも深めあえてどんな事業なのかという確認と、もちろん採否もなんですが、それ以外に、もし事業採択されたときに、こんなふうにしたらいいよというアドバイスも含めて、皆さんと意見交換できればいいかなと思ひています。</p>
<p>委嘱状の 交付</p>	<p>山田課長</p>	<p>ありがとうございました。 つづきまして、審査委員の1名につきまして1名交代がございますので委嘱状の交付を致します。ボランティア団体に所属するものとしてNPO法人ボランティアネイバーズよりご推薦をいただいております三島知斗委員に代わりまして、今回新たに新しく委員となりました、遠山涼子委員へ委嘱状を交付させていただきます。本来でございましたら市長の小山祐より交付させていただきますが、本日、他の公務がございますので、代理で市民協働部長の岡田より委嘱状の交付を致します。</p> <p>【委嘱状交付】</p> <p>それでは、委員の皆さんをご紹介いたします。初めに、会長の中京大学現代社会学部講師まち楽房有限会社の加藤武志様。NPO法人ボランティアネイバーズの遠山涼子様。区長会代表といたしまして東山行政区の区長の松波廣昭様。みよし市ボランティア連絡協議会会長の坊農由有子様。市役所政策推進部長の清水創一、市民協働部長の岡田高行、以上6名でございます。各委員の皆様には改めてど</p>

プレゼンテーション	農崎主事	<p>うぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って、順次進めてまいります。本日の選考方法及びスケジュールを事務局から説明させていただきます。</p> <p>それでは、本日のスケジュールと選考方法について説明をいたします。本日の審査については、市民活動団体の活動、行政区同意なしとして10万円上限の事業に5事業の採択申し込みがございましたので、計5事業の採択申し込み事業につきまして審査をお願いいたします。</p> <p>なお、次第の1ページ目に、採択申し込み団体を記載しております。この後9時43分から各団体のプレゼンテーションを行います。2ページ目、3ページ目に、プレゼンテーションのタイムスケジュール及び進行方法を記載しております。団体からのプレゼンテーションを5分間行い、プレゼンテーション終了後に、委員の皆様から団体への質問を7分間で予定をしております。団体の皆様が退場した後に、お手元に配布いたしました審査項目委員評価表により、各団体の事業について採点をしていただきたいと思います。審査項目委員評価表は、1枚ずつ分かれておりますので、それぞれに採点をお願いいたします。</p> <p>次に、4ページのみよし市がんばる地域応援補助事業の交付団体選考方法についてご説明させていただきます。3の審査基準についてですが、審査項目である、地域課題の妥当性、公益性、主体性など7項目の基準を設けており、右側に記載してある審査の着眼点に沿いまして、5点の、非常に優れているから、1点の劣るまでの点数をつけていただき、団体ごとの順位を決定させていただきます。また、最後の項目、地域性につきましては、行政区の同意がない事業については、審査の対象外であり、今回はすべての全事業が対象外となります。評価表にも分かるように斜線を入れておりますので、ご承知おきください。4、審査方法の6に記載している通り、評価が著しく低い、1点の評価がある場合は、委員の皆様にご協力をいただくこととなりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の5団体のプレゼンテーション終了時間は11時8分ごろを予定しております。そのあと休憩を挟み、11時18分から協議、採決を行いたいと思います。審査時間の遅れ等がないように、スケジュール管理をして参ります。また、プレゼンテーションの進行は事務局で行いますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>それではプレゼンテーションの団体に入場いただきますので、準備が整いますまでしばらくお待ちいただきたいと思います。</p> <p>それではチャレンジクラブ提案事業のプレゼンテーションを行います。よろしくお願ひします。</p> <p>【チャレンジクラブ プレゼンテーション】 1名</p>
	農崎主事	<p>ありがとうございました。事業内容に関しまして、委員の皆様よりご質問等がございましたらお願ひいたします。</p>

<p>松波委員</p>		<p>プレゼンテーションご苦労さまでした。ものづくりという観点から、先ほども門松という話があったんですけども、東山行政区では、東山大学という組織がありまして、毎月、その月に合わせていろんなものを作ったり、楽しんだり、社会見学したりしてるんですけど、このチャレンジクラブのイメージとしては、例えば3年という月日がある中で、例えば1年目に、いろんな教育、学習をしてもらって、その中で、2年目にそのメンバーで何か物を作る、計画を立てる、3年目に何か物ができ上がるというイメージなどのそういうプロセスをとられる予定ですか。例えば、百均でいろんなアイデア商品が出ていますが、子どもさんたちがアイディアを出しあって、物を作るなどの試みをするという予定はないのでしょうか。</p>
<p>チャレンジクラブ</p>		<p>チャレンジクラブは先生方に無理を言っています。一般販売をされているキットをさらに百均で売っている材料や身近な牛乳パックとかを使ったやつでできるように工夫して、毎回終わった時に子どもたちから受けたアンケートをもとに、先生たちが実行できるように検討しております。その会議の中で、もっとこうしたらいいじゃないかとか、いろんなことを毎回どんどん集約してきています。先ほど委員が言われたように、チャレンジクラブは、最初はやさしいことから始めて、どんどんどんどん難しくなっているのは確かです。子どもたちが成長するとともに、楽しみにしています。毎回、もっといいものないかなという話が出てきますので、中学生ボランティアを中心にした話し合いをして、彼らが講座の中で、いろんな子どもたちの世話もできるようになっています。先ほど言われたように、3年を通してやるという考え方はできてないと思いますが、どんどん進化しているのは確かです。電子工作も、ハンダづけを教えて、その子たちがもうどんどん進んでいきますので、今度はクリスマスツリーに電気つけたいなと考えております。</p> <p>LEDやハイブリッドも教えたいという話が出てきますので、大体2020年にはそういうハイブリッド車を作って、子どもたちが遊んでいました。</p>
<p>加藤会長</p>		<p>プレゼンテーションありがとうございました。聞きたかったのが、今回はターゲットが今までとちょっと違って中学生っていうことですね。僕たちも子どものワークショップはよくやるんですけど、小学生は親御さんの意向とかもあって、参加がある程度ニーズが見込めるんですけど、中学生は、自分の意思で参加していただくことになると思うんですね。三好中で24人は、結構なハードルかなと思うんですが、集客の手だてだったり、学校とのお話だったり、その辺の目途は立っているのですか。もう一つは、これ個人的な関心の一つですけど、レンクラフトは、表記を見るとドイツ語だと思うんですけど、その意味を教えてください。</p>
<p>チャレンジクラブ</p>		<p>ドイツ語で私が一番好きな言葉です。車にはハンドルがあり、船にはオールがある。それをうまく動かせる人になって欲しいという思いがあります。</p>
<p>加藤会長</p>		<p>レンクラフトの原義はどういうことなんですか。</p>

<p>チャレンジクラブ</p>		<p>人と人をつなぐリーダーを育てたい思いから、リーダーという意味よりはレンクラフトという名前の方が、いいのかなという感じです。中学生リーダーに引っ張っていただいております、初年度からやってた子が中学生になり、ボランティアになっていただいております。学校とももう話し合いをできておりますし、教育委員会にも話が出ています。教育長にもお話をし、どんどん進めていく予定です。</p>
<p>坊農委員</p>		<p>地域貢献活動を、行政区と話し合うというふうにお答えされていたようですが、例えばその三好中学校の方に限定されているのであれば、三好中のジュニアクラブだとか、PTAとの連携などはお考えになられていますか。</p> <p>ジュニアクラブだけでなく、地域課題ということであればコミュニティスクールの方々とも連携された方がよろしいのではないかと思います。</p>
<p>チャレンジクラブ</p>		<p>一応科学的なことで、どうしてもそういうことをやりたい子がいっぱいいるということをボランティアの中学生から聞いています。この事業を三好中学校でと決めたのは、三好中学校の生徒会が地域貢献活動を目標にしていると聞いているため、彼らだったら、少しでも地域貢献について、いろんなことを学んでいって、それを応用したものを、地域に貢献したらどうかというのが私の思いです。</p>
<p>坊農委員</p>		<p>そうするとまたちょっと違う質問ももう一つ今挙げさせていただきますが、三好中学校の子だけですか。他の地域の中学生が、どうしてもやりたいって言った時はお断りされるんですか。</p>
<p>チャレンジクラブ</p>		<p>いえ、それはやっていきます。増えてきましたら、グループ分けはしていくことになると思います。なるべく学校でそろえていきたいと思っています。</p>
<p>農崎主事</p>		<p>それではお時間になりましたので、チャレンジクラブのプレゼンテーション及び質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>【チャレンジクラブ 退場】</p> <p>委員におかれましては、採点をお願いいたします。</p> <p>【委員採点】</p> <p>それでは続きまして、みよしコロンバス友好協会のプレゼンテーションを行います。よろしくお願いいたします。</p> <p>【みよしコロンバス友好協会 プレゼンテーション】 1名</p>

	農崎主事	<p>ありがとうございました。ただいまのプレゼンテーションに関しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
	岡田委員	<p>再確認させていただきたいのですが、この事業は将来的には、コロナバス市を対象にした小中学生の子どもに特化した事業なのか、それとも広く市民全体を巻き込んだ国際交流活動を将来的には見据えておるのかちょっとその辺をご説明いただきたいです。</p>
	みよしコロナバス友好協会	<p>対象は小中学生にし、やがてその子が年齢を重ねていけば、大人になっていくということから、継続をしながら進めていけば、広い範囲が対象になっていくんじゃないかなというふうに考えています。最初は小中学生ということです。</p>
	清水委員	<p>先ほどの説明の中で、コロナバス市の写真の展示を通じて子どもたちの社会性公共心を育むというお話があったのですが、写真展によってそういった地域課題を解決するための工夫って何かございますか。ただ写真を見るだけではなく、そこに何か工夫というようなものがあれば教えていただきたいです。</p>
	みよしコロナバス友好協会	<p>始めは、現地でみよしの子どもたちがどのように迎えられているかについて、写真を通して伝えることです。これはみよし市においてできることばかりではないと思います。それから、これは昨年度行った企画なんですけども、コロナバス市周年100年祭を迎えました。この100年祭をどのように祝祭されているのか、これを昨年取り上げて、サンライブで行いました。</p> <p>前回の事業については、ほとんどの方が情報を知らないということがありましたので、これから進めるとしたら、私たちも情報の提供には十分配慮して、できるだけ多くの方に、特に小中学生には見ていただけるように工夫したいと思います。</p>
	加藤会長	<p>プレゼンテーション、お疲れ様です。小中学生が異文化に触れるとか、そういう交流を行うのはとっても良い活動かなと思うんですが、僕の方から事例として、他の町でこんなふうにやってるよというのを紹介したいと思います。一つは碧南市さんで、碧南市さんはクロアチアのプーラ市と姉妹都市提携を結んでいて、ちょうどこの間のサッカークロアチア戦の前日に、クロアチアで日本語を学んでいる大学生と碧南市民30人とで、ズームで繋いで、交流を行いました。向こうの人からすると、ネイティブの日本人と話すことができるとめっちゃくちゃ喜んでいただけて、ほとんどコストをかけずに、両方がサッカーのどっちを応援するとかそういう話から始まって、交流を図っていました。そういうやり方もあるので、やっぱり写真だけではなかなかその交流の部分では弱いのと、魅力が伝わりにくいと思います。それが一つと、あと大府市のおおぶ文化交流の杜という施設があるんですけど、そこは旅行会社が運営母体に入っているので、海外の添乗員を利用して、その現地の様子を、バーチャルトリップという形で海外名所とか回っているような実際に体感してるかのような、まちの魅力の伝え方をしています。それも大変好評で、コロナ禍なので行き来ができないという点もあったんだと思う</p>

	<p>遠山委員</p> <p>みよしコロナバス友好協会</p> <p>松波委員</p> <p>みよしコロナバス友好協会</p> <p>松波委員</p> <p>坊農委員</p>	<p>んですけど、そういう生の情報とか、双方向のやりとりとか、そういうことを加味されるともっと良い事業になるのかなというふうに思いました。アドバイスです。</p> <p>事業としては今ご説明いただいた写真展と、あとその地域でお住まいの外国籍の方との交流と大きく2本あるのかなと思ったんですけども、国際交流の活動からこの地域での多文化共生の取り組みに幅を広げられる上で、交流会が年2回というお話をいただいたんですが、そこに参加した子どもたちが、この先の暮らしの中で地域の方たちや外国籍の方との関わりだったりとか、必要な手助けとか、今後につながる何かきっかけとか工夫とかで考えてみるのがあれば、お聞かせいただけますでしょうか。そういう理解を持つよう子どもたちにどう働きかけをするか。交流会当日以外のところで、そこで育まれた、知り合いになったからその後、日々の交流ができるようになったとか、何かそれを次の展開につなぐような交流会での工夫が予定されていれば、お聞きしたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。今のところそこまでの展開を考えておりませんので、まず、2回を実施しまして、そこから次に発展することができればいいなと思いますが、また勉強して対応していきたいと思います。</p> <p>資料の中に、交流事業がすでに25年以上続いているとあります。最初のグループの方がもう40歳とのことですが、この人たちに、実際にコロナバス市に行って、体験して、現在、社会人になって、どれくらい役に立ってるのか、どれくらい心に残ってるのかなというのをちょっと聞きたいなと思いますが、そういう機会はないですか。</p> <p>直接お会いできるかどうかわかりませんが、私の方で連絡をとって、何かレポートにまとめていただくとか、できれば、一度来ていただいて、お話をするだけの機会が持てれば最高だと思いますが、そういったこと、それに類したことは考えております。</p> <p>ありがとうございます。採用されれば、また発表の機会があると思いますのでそれまでに、できたらそういう方のご意見を聞きたいというのと、最後にもう1点、先ほど会長さんが言われましたように、私自身もこれ見て、写真展だけではちょっとインパクト弱いかなあと思いました。SNSではLINEなどは多くの皆さんが活用していますし、グーグルでは、例えば、コロナバス市と入れるだけで、今説明された内容やみよし市の歴史からなにも全部出てくるんです。もっともっとそういうのを活用して、LINEでは、今は無料で海外とお話できるんです。経費がかからないので、先ほど会長さんが言われたみたいに、勉強して、そのようなことも活用してもらって、子どもたちが直接、向こうの子どもたちと話ができる、そういうことも企画してもらおうと良いのかなとは思っています。</p> <p>活動に関心のある人をボランティアとして募ったり、ボランティアグループを組織したりするとありましたが、ここに戦略とか何かアイディアがあるのかっていうところがまず気になります。と</p>
--	---	---

	農崎主事	<p>いうのも、ボランティアって、いろんな理由があって、長く続けるのが難しいです。なので、もし今までそのボランティアを組織したことがないということでしたら、私から一つお話できることは、どんな形でもいいですけど皆さんが、みよし coron bus 友好協会の会長と活動するのが楽しいという要素を残しておけば、長く続けるチャンスはあるかと思しますので、どうかそれ覚えていらしてください。</p> <p>以上でみよし coron bus 友好協会のプレゼンテーション及び質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>【みよし coron bus 友好協会 退場】</p> <p>委員におかれましては、採点をお願いいたします。</p> <p>【委員採点】</p> <p>それでは続きまして、豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チームのプレゼンテーションを行います。よろしくお願ひします。</p> <p>【豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チーム プレゼンテーション】 2名</p>
	農崎主事	<p>ありがとうございました。ただいまのプレゼンテーションに関しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
	岡田委員	<p>私から2点ほど質問いたします。まず、豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チームという組織について、もう少し詳しく教えていただきたいのと、豊田市ですでに実施をされていると思いますが、豊田市の方での活動の状況等をご説明いただきたいと思ひます。</p>
	豊田みよしおやこ劇場ママ応援チーム	<p>ママ応援チームはみよし市で立ち上げました。おやこ劇場は4歳児から対象となるので、4歳児からの劇を見せたり活動をしたりという活動を、豊田とみよし市両方でやったりしています。ママ応援チームは、今回立ち上げたばかりなので、活動は今からです。</p>
	加藤会長	<p>プレゼンテーションありがとうございました。とてもすてきな活動だと思ひてぜひと思ひます。0歳から3歳のお子さんを育てておられる方にリーチするというか、こういうことやってるよっていうことをお知らせする必要があると思ひますけど、チラシ代と書いてあるので、そういうの作られるんだろうと思ひますが、どのようにか知ってもらって、またここに足を運んでもらわなきゃいけないと思ひますけど、その辺の工夫とかを教えてください。多分おやこ劇場さんはノウハウなどもお有りだと思ひますけど、その辺をお聞かせいただければと思ひます。</p>
	豊田みよしおやこ劇場ママ	<p>チラシなどを各施設に置いておこうと思ひていたんですけど、若い30代のメンバーはSNSを使うと話していたので、そちらも活用し</p>

	応援チーム	<p>て、観劇にこられたママには、登録してもらって、次の情報が更新できるようにしようという話は出ています。</p>
	遠山委員	<p>今回グループを立ち上げられてこれから活動を開始されるということなんですけれども、少し先の展望も含めてお伺いするんですが、何か参加した方たちのお子さんも成長していく過程の中で、その参加者メンバーが担い手になっていくような、何かそういったようなお考えや工夫とかがあればお聞かせいただけますでしょうか。</p>
	豊田みよしお やこ劇場ママ 応援チーム	<p>活動が続くためには、参加いただいて、そして、ここの会則にあるように、おやこ劇場の会員になっていただいて、そして、企画する側に回っていただけるように、育てていきたいなとは思っています。今、0歳の子も、3年後には3歳になってしまって、やっぱりそのサイクルがないと団体も小さくなっていくだろうなと思っているので、彼女たちの、0歳の子が入ってきた時に成長できるように、ママたちも、私たちの勉強会とかもあるので、そちらの方にお誘いしたりして、幅広くママとしての情報共有をしたり、あと、担い手になっていただけるようにしたいと思っています。</p>
	松波委員	<p>プレゼンテーションご苦労さまでした。先ほども質問に出たんですけど、何かイメージ的に豊田でやっていたものを、今度、みよし市でやろうと思っているということですか。2点目は、こういうお母さんたちに、なかなか皆さんの前に、出てきづらいのではないかと思います。広報をしっかりとやらないと、みよしでも、お母さんたちが本当に集まってくれるのかなあと、疑問を持ってるんですけど、その点いかがでしょうか。</p>
	豊田みよしお やこ劇場ママ 応援チーム	<p>私はみよし市で母子支援事業をしていて、お母さんたちが孤独な感じであると私は思ったものですから、そういう人を中心に声をかけてあげたいなと思っています。それで、この会員さんのママにも0歳を育てているお母さんたちがいるっていう話をしましたが、SNSを使って、結構集まるそうなので、そちらも利用して周知しようと思っています。所属している方は、プレーパークや森のようちえんなどもやっている方なので、そちらの方で赤ちゃんを育てているママたちにも、情報が行くという話は聞いていますので、活用していきたいと思っています。</p>
	加藤会長	<p>これから審査に入るとは思いますけども、ぜひ採用されましたら、コロナに気をつけて、多くの方に集まってもらえると良いと思います。</p> <p>申込書の9ページに、周知方法が、観劇の方は、チラシとみよし市広報になっていて、子どもの居場所の周知方法は、基本おやこ劇場出席者となっています。入口としては、観劇から入って子どもの居場所に引っ張ろうという流れに見えます。僕も孫がいるので、育てている側からいうと、観劇に行く方がやっぱりハードルが少し高くて、日常的に少しおしゃべりできるようなところに1回行ってみよかなということもあると思うので、どっちも入口になるように、さっきのSNSとか使うとしたら、おしゃべりしに行きませんか、み</p>

	<p>豊田みよしおやこ劇場ママ応援チーム</p>	<p>たいな入口から、観劇に引っ張ったり、逆にお客さんがどっちにも動くような、立て付けされた方が効果的と思いました。もし採択された場合の助言です。</p> <p>ありがとうございます。ここに書いてしまったのは本当にこの二つだけだったんですけど、実は子どもの居場所のSNSを作って、毎月発信するっていう形にして、なおかつ情報誌の方も活用させてもらいたいと思います。情報誌は、さっき言った、森のようちえんの活用している情報誌があるようですので、そちらの方にも協力いただけるとい話がかきていますので、そちらも活用したいと思っています。</p>
	<p>農崎主事</p>	<p>以上で豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チームのプレゼンテーション及び質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
		<p>【豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チーム 退場】</p> <p>委員におかれましては、採点をお願いいたします。</p>
		<p>【委員採点】</p>
		<p>それでは続きまして、NPO 法人みよし協働農園の会のプレゼンテーションを行います。よろしくお願ひします。</p>
	<p>農崎主事</p>	<p>【NPO 法人みよし協働農園の会 プレゼンテーション】 1名</p>
	<p>加藤会長</p>	<p>ありがとうございます。ただいまのプレゼンテーションに関しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
	<p>みよし協働農園の会</p>	<p>市民農園を運営されているのは、NPO法人みよし協働農園の会ってことでいいんですか。土地の所有者などの権利関係はどうなっていますか。</p>
	<p>加藤会長</p>	<p>すべて地主さんからお借りしております、市に申請をして、農業委員会で利用権設定の手続きをして、有料で借りる手続きをしました。</p>
	<p>みよし協働農園の会</p>	<p>ということはその地主さんはこういうことしたい、ということについて理解を示されてるってことで良いですか。</p>
	<p>岡田委員</p>	<p>当然そういうことです。ご理解いただくことを前提でお借りしています。地主さんも含めて何とかしないとけないという話はずっとしておりますので、当然地主さんにご存知です。</p>
		<p>私からちょっと細かい話で恐縮です。収支予算書の項目が、みよし協働農園の会から予算が36万円ということで、その内訳が会員67</p>

	<p>みよし協働農園の会</p> <p>松波委員</p> <p>みよし協働農園の会</p> <p>松波委員</p> <p>みよし協働農園の会</p> <p>遠山委員</p> <p>みよし協働農園の会</p>	<p>人×3000円ということで、ちょっとこの辺の計算がちょっと合わなかったんですが、この3000円っていうのは、会員さんから、この法面を整備するために徴収するお金になるんでしょうか。</p> <p>いえ、農園の収入は会員の皆さんからは、年会費という形で、毎年3000円ずついただいております。あとは、それぞれの農地を借りる区画に応じて、一区画5000円、2区画以上だとプラス1000円という形で、利用料を頂いております。二つの収入が中心になっておりまして、会の運営の中でやっているものですから、収入の内訳としての書き方としてはそういう書き方にさせていただいたということでもあります。</p> <p>説明の中でららぽーと等の建設に、残土を今のところに積み上げて、現在の場所ができていると思うんですけど、まず1点はその辺の経緯と、今何名の方が区画を借りようとしているのか、その辺の説明をお願いします。</p> <p>ららぽーとの残土の搬入をした理由についてですが、あのあたりの土は山土であるため、土質もいいかなと思いました。地元の酪農をやっている方のところから、牛糞を2トン車で何%か入れてもらって、それを地元の農家の方にちょっと協力していただいて、ちらさせてもらって、全部それのお金は当然出るわけですけど、それはNPOで負担しまして、私のトラクターでかきまぜてある程度整備した上で、皆さんにお貸しをするということをしました。それでも一回でそんないい土になるわけではないものですから、私たちの農園では堆肥を入れるところを2ヶ所作っており、そこには良い堆肥屋さんから堆肥を持ってきてもらって、皆さんのところで入れてもらうようにしているものですから、結構、良い土になってきております。</p> <p>それから区画数が80余あったのですが、この申請を出したところではまだ埋まっていませんでしたけど、本日の段階で全部埋まりました。80何区画ですけど、数区画を1人でやられる方もみえますので、利用者40数名の方が、80何区画をすべて利用するという形になっております。</p> <p>私は東山の区長をやっておりますが、大変入口がわかりにくい。これからぜひその辺を、検討して、もっと多くの方にわかるような工夫をしてください。</p> <p>出入口が危ないですからね。この前、自分たちでカーブミラーを設置したんですけど、大きなカーブミラーができない。市の方でもご協力をお願いできないかなということで、お願いはしております。</p> <p>法面がそのままだと危ないから植樹をしたいっていう認識でよろしかったですか。</p> <p>そのままだと危ないというよりも、手入れが大変だからという点もあります。</p>
--	---	--

	清水委員	<p>何か、植樹をして管理するための補助金申請だと思うんですが、もしこれが通らなかったら、他に何か手だてはあるのかっていうのと、この3年間の中で植樹は前半になると思います。後半について、3年後以降どうやって資金繰りをされるのかという点が気になります。</p>
	みよし協働農園の会	<p>もともと、とにかく何とかしなくちゃいけないと思っておりまして、補助金が3年間ということですので、3年間に合わせた計画にしました。とにかく何年かかろうが、ちゃんとやっていなければならぬとずっと思っておりまして、補助金があるとなかろうと、みんなでどうやってやろうかと考えていきます。とにかく苗木をどうやって手に入れるかという点が一番の悩みなので、自分たちで増やすとか、金がかからないようにしてやるとか、いろんな人に声かけて提供してもらおうとか、そういうことをしていけないといけないんじゃないかなということを考えております。</p>
	農崎主事	<p>以上でNPO法人みよし協働農園の会のプレゼンテーション及び質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>【NPO法人みよし協働農園の会 退場】</p> <p>委員におかれましては、採点をお願いいたします。</p> <p>【委員採点】</p> <p>それでは続きまして、学生団体 いいじんのプレゼンテーションを行います。よろしくお願いいたします。</p> <p>【学生団体 いいじん プレゼンテーション】 2名</p>
	農崎主事	<p>ありがとうございました。ただいまのプレゼンテーションにつきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
	加藤会長	<p>現在、お子さんとの居場所を実際にやられていて、先ほど写真も見せてもらったんですけど、自分たちの今やってる、その居場所づくりの事業で、ここが一番困ってるなあと課題だなあとと思うところは、どんなところですか。それを教えてもらえますか。</p>
	学生団体 いいじん	<p>今課題だと思ってるのは、何回かこれまでに活動してきたんですけど、毎回、子どもが来てくれるとは限らなくて、まだこの活動を知ってもらえてない、いろんな人に知ってもらいたいなっていうふうに思ってるので、今後はもっといろんな人に知ってもらってもっと多くの子どもたちに来てもらえる場所にしたいなっていうふうに考えています。</p>

	加藤会長	<p>累計の参加者数が45人になっていて、やっぱり同じ人が繰り返して来る傾向にあるんですか。どちらかというと、少数の人が何回かきてるっていうイメージですか。</p>
	学生団体 い いじゃん	<p>はい。</p>
	加藤会長	<p>あともう一つだけ聞きたいのは、とても良い事業などで応援したいって個人的には思うんですけど、1回ずつこうそういう楽しい会を設けられていて、その事後っていうか終わった後に、例えば、子どもさんとか、親御さんとかのフィードバックっていうか、どんなふうだったかっていう、効果測定みたいなことされていますか。</p>
	学生団体 い いじゃん	<p>お母さんからメールで、すごく楽しかったというお声はいただいております。こちらから聞いたわけではないんですけど。</p>
	加藤会長	<p>もし続けていかれるとしたら、さっきの集客の問題も含め、何か理由があって離れる場合もあると思うので、フィードバックを得られる工夫をされると、もう少しこう活動がバージョンアップしていくかもしれないなと思いました。応援しています。</p>
	坊農委員	<p>私も個人的にとっても応援したいなと思っております。大学生中心の活動で後輩にバトンを渡していくということで、継続性というところではとても可能性が大きいなと思っているんですが、この皆さんの活動を大学側は把握されてらっしゃいますか。</p> <p>例えば、それに関してとても協力的だったりだとか、顧問の先生などの、何かあったときの責任を取られる先生とかがいっぱいいますか。それとも完全に大学とは分離して、皆さんだけで単独で行っている事業ですか。</p>
	学生団体 い いじゃん	<p>愛知教育大学のスタッフが一番多いんですけど、一応他の大学のスタッフもいるので、愛教大にこだわることはしなくてもいいのかなとは思っていますが、大学の先生の中には知ってくださってる先生もいますし、アドバイスをもらったりということもあります。</p>
	坊農委員	<p>わかりました。あと最後の方に他の団体との、タイアップについてもおっしゃられてました。具体的にどちらの団体ですか。</p>
	学生団体 い いじゃん	<p>この活動を始めるきっかけとなった学習塾がありまして、その学習塾で、今私は講師としてアルバイトをしてるんですけども、その塾でも不登校生や経済的に困窮している家庭に対しての支援をしています。その塾とタイアップしたりとか、あとは、今がんばる補助金を受けているART LAB (BLUE+)さんの活動にも何度か見学させていただいたことがあって、何か協力できることがあるといいねっていうお話はさせてもらっています。</p>
	遠山委員	<p>そのきっかけになった活動のお話を聞いて、対象になる方との出</p>

		<p>会いとか必要性というのを感じられて今の取り組みを始められたんだなというのがわかったんですけども、その不登校にある子と、外国籍にルーツがある子はなかなか背景がまた異なるので、アプローチも変わってくるのかなと思います。課題で感じてらっしゃると思うんですが、そこを、今現状がどういう状態にあるか、その形がどこにいてどういうふうにするかとアプローチができるのかについて、何か考えてみることはありませんか。</p> <p>さっきの活動の記録の中に、県営中島住宅の集会所で開催したときがあったと思うんですけど、中島の子どもたちの中には外国にルーツを持つ子どもたちが多いと思います。集会所で開催したら、中島の子たちに、より来てもらえるんじゃないかなっていうふうに思って、開催をしました。実際に開催した時には、来てくれた子どもは、中島に住んでる子どもたちが来てくれて、やっぱり子どもたちが話をしてる様子を聞くと、日本語以外の言葉が飛び交っていたりとかがあったので、外国にルーツを持つ子どもたちとしては、中島住宅と連携をとりながら進めていきたいなというふうに思っています。</p> <p>地域の方とも連携をとるようなイメージということですね。わかりました。</p> <p>普段から活動ありがとうございます。先ほど、今後の展開とかもお話されて、今もすごくいろいろ活動されているんですけども、この補助金が3年間10万円ずつってというような形で、3年間は10万円ずつあって、活動費用として、交通費について書いてあるんですけども、この3年終わった後が、何か非常に苦しくなるのかなってちょっと思ったりもするんですが、そうした時の、何か策というか、この活動を続けていくにあたっての策があれば教えてくださいか。</p> <p>資金的な面では、愛知教育大学の大学祭に出展して、そこで資金を得ようというふうに考えています。資金を得ると同時にその大学祭で、この活動を知ってもらうきっかけを作って、ボランティアスタッフも一緒に増やしていけたらいいと思っています。</p> <p>あとは、子ども食堂において、食事の提供を受けていきたいと考えているので、そういうところでは、企業だったり、スーパーだ当たりの協力が得られたらいいなというふうには考えています。</p> <p>愛教大の大学祭への出展については、今年の冬にも出展してまして、売上で7万円がありました。毎年毎年、そこまで行くかは分からないですが毎回3万円ずつぐらい稼げていけば、自分たちの交通費ぐらいは工面できるんじゃないかっていうふうに考えております。年に2回あるので、年間6万円ぐらい稼げるかなというふうに考えて、さっきスーパーみたいな話も出たんですけど、子ども食堂関係では、カゴメさんだったりとか、いろんな財団がありまして、そちらで補助金をもらってるような団体さんとも今は、僕個人で少し繋がっておりますので、そちらと相談しながら、3年終わった後に、企業からの支援を考えております。</p>
学生団体 いじゃん	い	
遠山委員		
清水委員		
学生団体 いじゃん	い	

審査、事業採択について	加藤会長	<p>応援しておりますので、よろしくお願いいたします。時間なので少しいアドバイスだけなんですけど、僕は中京大学の豊田キャンパスに行っていて、あそこには、保見団地っていうところがあって、学生や教え子が立ち上げた団体を運営しています。この学習支援をしたり、子ども食堂などを学生中心にやっているの、そこは中京大だけじゃなくて淑徳とか、愛知県立大学とかの学生さんも一緒に多分やってると思うんです。ノウハウや悩みなどの課題が共通している部分があるかもしれないので、もし連絡を取ることがあったら言ってもらえば、つながります。</p>
	農崎主事	<p>以上で学生団体 いいじんのプレゼンテーション及び質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>【学生団体 いいじゃん 退場】</p> <p>委員におかれましては、採点をお願いいたします。</p> <p>【委員採点】</p> <p>【採点集計】</p>
	山田課長	<p>それでは、ここからの取り回しは、「がんばる地域応援補助事業 審査会運営要綱」第6条第1項の規定により加藤会長にお願いしたいと思います。</p>
	加藤会長	<p>お疲れ様でした。では、集計結果を見ながら進めていきたいと思ひます。</p> <p>まず、チャレンジクラブから協議をお願いします。</p> <p>【チャレンジクラブ 協議】</p> <p>【チャレンジクラブ 結果】</p> <p>今回申請のありました事業は、前回の採択事業で経験を積んだ子どもたちへの人材育成が主な内容であると拝察され、前回採択事業の発展した事業内容ではありますが、前回事業からの継続性が認められるとともに、補助事業対象者が限定的になることを総合的に勘案した結果、審査項目「公益性」を充足していないと判断したため、不採択とします。</p> <p>次に、みよしコロンバス友好協会について協議をお願いします。</p> <p>【みよしコロンバス友好協会 協議】</p> <p>【みよしコロンバス友好協会 結果】</p> <p>採択としますが、写真展以外の手法を用いたコロンバス市との交流事業について検討することを条件とします。</p>

閉会	山田課長	<p>次に、豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チームについて協議をお願いします。</p> <p>【豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チーム 協議】</p> <p>【豊田みよしおやこ劇場・ママ応援チーム 結果】 採択とします。</p> <p>次に、NPO 法人みよし協働農園の会について協議をお願いします。</p> <p>【NPO 法人みよし協働農園の会 協議】</p> <p>【NPO 法人みよし協働農園の会 結果】 採択とします。</p> <p>次に、学生団体 いいじゃんについて協議をお願いします。</p> <p>【学生団体 いいじゃん 協議】</p> <p>【学生団体 いいじゃん 結果】 採択とします。</p> <p>慎重審議をいただき、ありがとうございました。今回審査いただいた5団体のうち、4団体につきましては採択ということでございますので、団体に結果を通知し、来年以降の準備をしていただきたいと思います。</p> <p>また、現在活動している団体を含めまして、令和5年度以降につきましても、引き続き支援していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>では以上をもちまして、令和4年度みよし市ががんばる地域応援補助事業審査会を終了いたします。 最後に礼の交換をいたします。 一同礼。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(散会)</p>
----	------	---